

(7) 精神保健福祉援助実習指導論Ⅲ(講義：120分)…日本精神保健福祉士協会と共催

- 1 とても参考になった 2 まあ参考になった 3 どちらともいえない
4 あまり参考にならなかった 5 全く参考にならなかった

今後の参考のため、具体的なお意見をお書き下さい

(8) 精神保健福祉援助実習指導方法論Ⅲ(演習：100分) …日本精神保健福祉士協会と共催

- 1 とても参考になった 2 まあ参考になった 3 どちらともいえない
4 あまり参考にならなかった 5 全く参考にならなかった

今後の参考のため、具体的なお意見をお書き下さい

Q10 実習のモデル講習に取り入れた方がいいと思う内容がありましたらお教えてください

Q11 今後の本格実施をめざすにあたって、ご意見やご要望がありましたら、自由にお書きください

ご協力ありがとうございました

資料5-1

精神保健福祉援助実習 モデル講習 事前アンケート

◇教員の認識(実習における重要度)

【4. 非常に重要 3. まあ重要 2. あまり重要ではない 1. まったく重要ではない】

◇取り組んでいるか否か

【4. 熱心に取り組んでいる 3. まあ取り組んでいる 2. あまり取り組んでない 1. まったく取り組んでない】

◇今後への認識【3. 改善が必要 2. 改善したいがすぐには困難である 1. 現状で良い】

該当する番号に○をお願いします。

*アンケート用紙には、事前と事後での変化を個別に把握する目的で通し番号をつけてありますが、個人を特定するものではありません。以上をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願い致します。

教員としての取り組みの項目	教員の認識(重要度)	取り組んでいるか否か	今後への認識
実習施設における精神保健福祉士の実情(業務)の把握	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習指導者に対する養成校の教育システムの説明	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習プログラムに関する現場への提案	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習指導者との実習プログラムに関する打ち合わせ	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
学生と実習施設・指導者とのマッチング	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習担当教員としての自己研鑽	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習担当教員として、実習の質の向上への取り組み	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
事前指導の充実への努力	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習(学生)のもたらず現場への効果に関する認識	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習巡回等における実習中のスーパービジョン	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習報告会など現場へのフィードバック	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習記録を通じた実習指導	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習の事後指導及び評価	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1

学生への指導項目	教員の認識(重要度)	取り組んでいるか否か	今後への認識
実習生としての基本的なマナーの習得	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習施設に関する基本的事項に関する学習	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習を行う地域の特性、社会資源に関する学習	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習課題や目的の明確化(実習計画)	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
利用者や家族に対する基本的な理解、ニーズ把握の重要性	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
人権やプライバシーなどに関する学習	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
専門職としての役割や責任に関する認識	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
法制度、医療や福祉サービスに関する基本的な知識の習得	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
記録の書き方や活用に関する学習	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
相談援助、コミュニケーションの技術の習得	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
チームアプローチへの理解	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習機関の経営や運営管理に関する知識	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
アウトリーチや社会資源活用に関する知識	4 - 3 - 2 - 1	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1

資料5-2

精神保健福祉援助実習 モデル講習 事後アンケート

◇教員の認識(実習における重要度)

【4. 非常に重要 3. まあ重要 2. あまり重要ではない 1. まったく重要ではない】

◇今後への認識

【3. 改善が必要 2. 改善したいがすぐには困難である 1. 現状で良い】

該当する番号に○をお願いします。

教員としての取り組みの項目	教員の認識(重要度)	今後への認識
実習施設における精神保健福祉士の実情(業務)の把握	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習指導者に対する養成校の教育システムの説明	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習プログラムに関する現場への提案	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習指導者との実習プログラムに関する打ち合わせ	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
学生と実習施設・指導者とのマッチング	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習担当教員としての自己研鑽	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習担当教員として、実習の質の向上への取り組み	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
事前指導の充実への努力	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習(学生)のもたらす現場への効果に関する認識	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習巡回等における実習中のスーパービジョン	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習報告会など現場へのフィードバック	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習記録を通じた実習指導	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習の事後指導及び評価	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1

学生への指導項目	教員の認識(重要度)	今後への認識
実習生としての基本的なマナーの習得	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習施設に関する基本的事項に関する学習	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習を行う地域の特性、社会資源に関する学習	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習課題や目的の明確化(実習計画)	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
利用者や家族に対する基本的な理解、ニーズ把握の重要性	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
人権やプライバシーなどに関する学習	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
専門職としての役割や責任に関する認識	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
法制度、医療や福祉サービスに関する基本的な知識の習得	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
記録の書き方や活用に関する学習	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
相談援助、コミュニケーションの技術の習得	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
チームアプローチへの理解	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
実習機関の経営や運営管理に関する知識	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1
アウトリーチや社会資源活用に関する知識	4 - 3 - 2 - 1	3 - 2 - 1

資料6

2010年2月(18・19日) 20・21日
一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会
研究委員会

精神保健福祉援助演習のモデル講習に関する講師アンケート

この度は日本精神保健福祉士養成校協会主催のモデル講習会にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。本講習会は、厚生労働省の「平成21年度障害者保健福祉推進事業」の中の「精神保健福祉士養成カリキュラム改正に伴う実習指導者及び実習担当教員養成研修のプログラム開発事業」の一環で、社団法人日本精神保健福祉士協会より、本協会が実習担当教員を対象とした調査研究に関して一部委託を受けて実施しているものです。

ご理解の上、以下のアンケートへのご協力をよろしくお願い致します。

講師氏名 _____ 講義名 _____

Q1.本講習を行うにあたって、心がけたこと、工夫された点があればお教えてください。

Q2.本講習で、最も伝えたかったことはどういうところでしょうか?

Q3.受講者の反応はどうでしたか?

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 十分に理解してくれた | 2. まあ理解してくれた | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり理解は深まらなかった | 5. 全く理解してもらえなかった | |

Q4.Q3の回答についてその理由をお書きください。

Q5.本講習を実施してみて、気づかれた点や感想などがありましたら、お教えてください。

Q6.今後の講習会に盛り込むべきだと考える内容がありましたら、お教えてください。

Q7.その他、何かございましたら、ご意見をお書きください。

ご協力ありがとうございました。

資料 7

20010 年 2 月 日

殿

一般社団法人
日本精神保健福祉士養成校協会
事務局長 藤井達也

拝啓 時下益々ご清栄のことと拝察申し上げます。

日頃より日本精神保健福祉士養成校協会にご協力を賜りありがとうございます。

ところで、実はこの度開催させていただいております講習会は厚生労働省の「平成 21 年度障害者保健福祉推進事業」の中の「精神保健福祉士養成カリキュラム改正に伴う実習指導者及び実習担当教員養成研修のプログラム開発事業」の一環で、社団法人日本精神保健福祉士協会より、本協会が実習担当教員を対象とした調査研究に関して一部委託を受けて実施するものです。

今後の精神保健福祉士養成において重要な位置を占める「実習担当教員養成研修プログラム」の開発を目的としており、今回受けられた講習に関するご意見、今後の研修に関するご意見などを集約させていただくアンケートと合わせて、講習参加者を対象としたフォーカス・グループインタビューの実施を計画しております。

ご多忙中、突然のお願いで大変申し訳ございませんが、講習終了後に実施するフォーカス・グループ・インタビューにご協力いただきたく、お願い申し上げます。趣旨をご理解いただきまして、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

<研究目的>

すでに第一次の調査として、精神保健福祉士の養成課程を有する大学及び養成施設等の現場実習に係る現状に関しては質問紙調査を終了している。

本調査（グループ・インタビュー）は大学及び養成施設等の実習担当教員に必要とされる研修内容等を調査し、実習担当教員に必要な研修内容等を明確にすることを目的としている。